平「手當を聞かぬと皆不安ですから是非此處て云つて欲しい」

松「それが解るかおれが聞くと皆有難いと喜んて居るヨ」

平「喜ぶ人と喜ばない人と孰方が多いか大勢の中だから風變りの人もあるてせう」

梅「止めたい者もあり止めたくない者もあります此頃は皆一寸來いを非常に嫌がつて居ります或一人も鐵板をかついて來る時に一寸と來いを云われてそれを落して怪我をしのもあります」

松「解雇手當は定まつて居るから增減する樣なことはない」

平「定まつておれば見せてもよい筈てせう彼方へ行け此方へ行けと云はれては困ります私達は生死の境てあるのだから」

松「部長の所へ行つて聞いて貰ひたいそれてよいてないか、そんな事は問答しなくても後て聞けばよいのだ灘君は野倉の免倒を見らるのか一人て行つたのだな」

灘「見て居ります」